



和倉温泉 加賀屋 外観

- 本社所在地：石川県七尾市和倉町
- 事業概要：2024年1月1日の能登半島地震発災前は、和倉温泉で加賀屋・あえの風・松乃碧の3旅館を経営
現在、復興の為の計画を検討中
- 常時使用する従業員：150名
(2025年12月時点)
- 直近3期の平均売上高：43億円
(2023年3月期～2025年3月期の平均)
- 法人番号：5220001015292
- Web：https://www.kagaya.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
渡辺 崇嗣

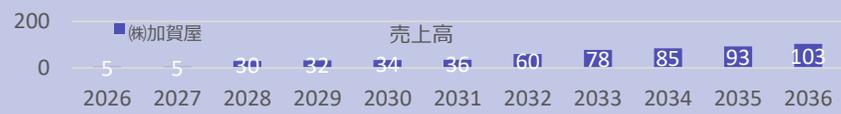
笑顔で気働き

加賀屋のモットーは「笑顔で気働き」です。お客様が求めているにさりげなく応え、心からの満足をお届けする。この半歩先行くおもてなしの心が、今日の加賀屋を築いています。私たちは、旅館とは単なる宿泊施設ではなく、お客様とスタッフが感動を分かち合う「歓喜業」であると考えています。能登半島地震からの復興を歩む今、私たちは守るべき伝統を継承しつつ、和倉温泉に展開するグループ旅館のリブランディングに取り組みます。時代と共に移ろうニーズに寄り添うおもてなしへと進化させるとともに、和倉温泉から奥能登観光全体へと魅力を繋ぐ「観光の起点」としての役割を担ってまいります。その役割を通じて、能登の豊かな恵みを支える1次産業から、加工・製造、そして観光サービスという3次産業に至るまで、地域経済の循環を活性化させ、復興の一助となる。これこそが、私たちの目指す姿です。お客様の笑顔がスタッフの喜びとなり、スタッフの情熱がお客様の感動を呼ぶ。そんな「お客様とスタッフが共に喜べる旅館」であり続けることで、能登の地に新たな価値を創造し、未来へと繋いでまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

令和6年能登半島地震により休業しているなかで、モットーである「笑顔で気働き」を継承しつつ、「復旧から復興へ・進化から新加へ」のビジョンを実現させ、復興後は「おもてなし」「料理」を軸とした旅館業を中心として発展性を持たせた横展開を推進。さらに旅館「を」やっている会社から旅館「も」やっている会社を目指し、加賀屋ブランドを活用した新たなビジネスモデルを構築することで2036年度に売上100億円達成を目指します。



課題

- マネジメントスキル向上
 - ・収益最大化を図るための、マネジメントスキル育成
- 組織力強化と人材育成
 - ・加賀屋が長年培ったおもてなしの流儀を学び、実践できるスタッフの育成
 - ・加賀屋流のノウハウを「マニュアル化」して提供するモデルの構築
- 「加賀屋らしさ」が表現された企画力
 - ・食文化や伝統工芸など日本の魅力、地方の魅力を共感できるようなストーリー（コト）を演出、表現した企画、商品造り

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・新館への設備投資による生産性、収益性の向上
- ・国内外の富裕層、インバウンド集客の強化
- ・社内ビジネススクールを起点にしたマネジメントスキルの深化
- ・加賀屋の流儀「おもてなし」を言語化し、体系的に学べる体制の確立
- ・既存のネットワークを駆使した業界情報の収集
- ・外部専門家と連携し、「加賀屋らしさ」を体現できる企画立案

実施体制

- ・各部門の役割見直しとグループ企業との連携
- ・リアルエージェントをはじめ、ビジネスパートナー企業との関係強化
- ・金融機関との対話を通じた、透明性の高い伴走型経営の推進

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです